

3-5 在住外国人に対する偏見差別

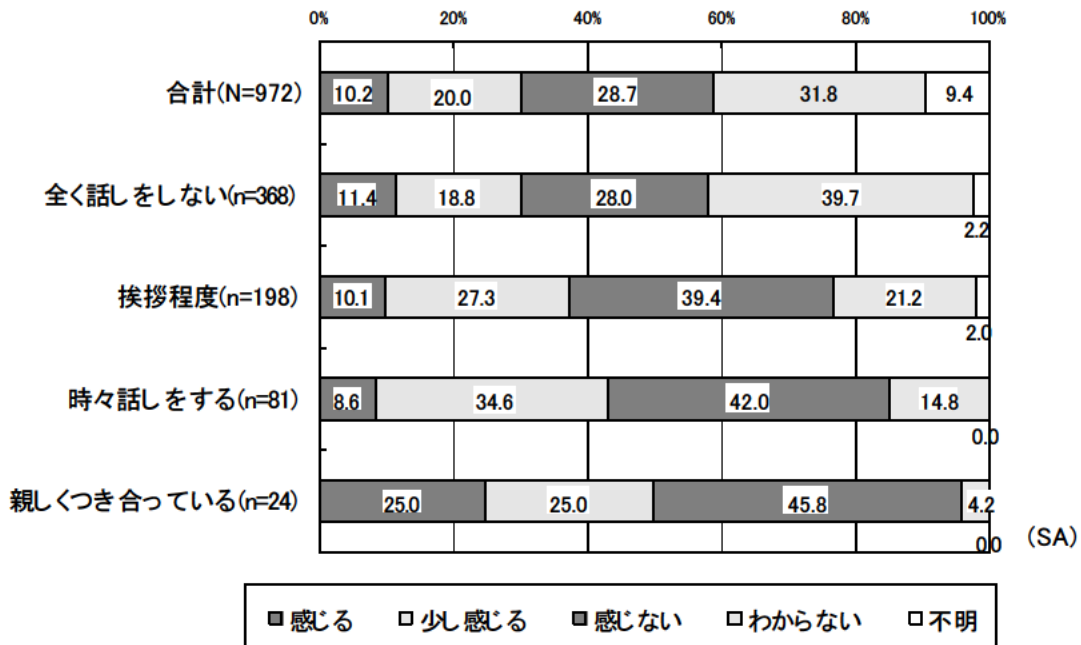
(1) 周囲での偏見差別の有無

<全体>

まわりで外国人に対する偏見差別があると感じている割合は 30.2%（「感じる」と「少し感じる」の合計）と、「感じない」（28.7%）がほぼ同じ割合となっている。

<付き合いの状況（程度）別>

外国人との付き合いの状況（程度）別にみると、偏見差別があると感じている割合（「感じる」＋「少し感じる」）と、「感じない」割合はほぼ同じ割合となっている。また、「わからない」という回答は付き合いの程度が親しくなるにつれて少なくなっている。



○質問

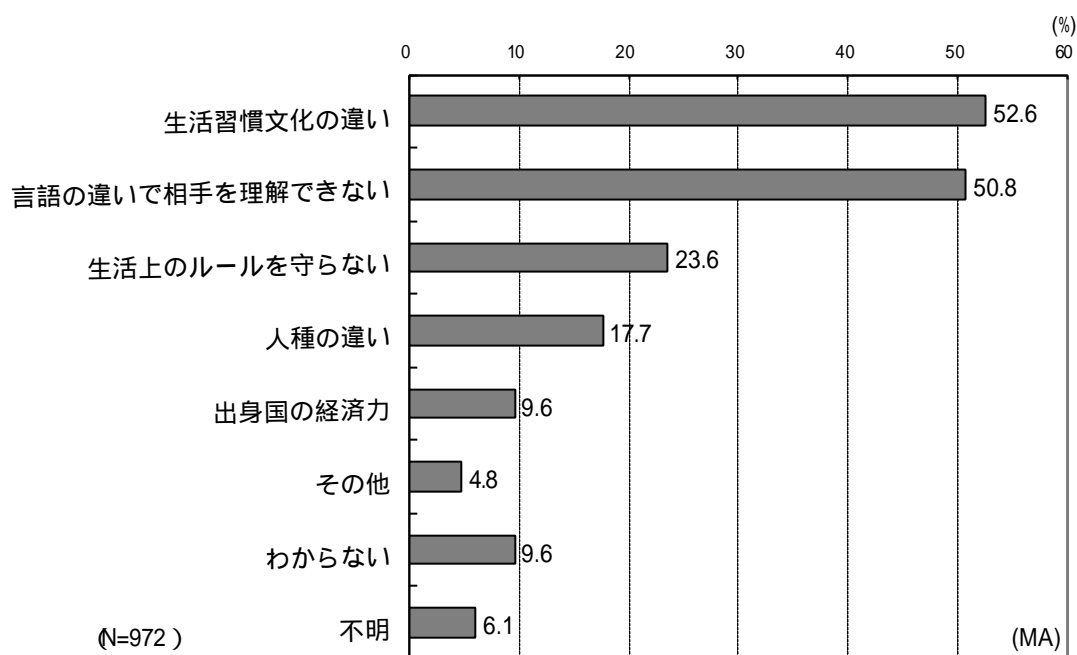
あなたはのまわりで外国人に対する偏見差別があると感じますか。（単一回答）

また、「どんな時に差別を感じたか」という質問に対しては、「何か問題があった時、個人ではなく外国人ということを経由とする」「賃金が低い」「あまり親しくないように言われた」「有色人種をみると犯罪を連想する」などの回答があげられている。

(2) 偏見、差別の原因

外国人に対する偏見差別の原因としては、約5割の回答者が「生活習慣文化の違い」「言語の違いにより相手方の理解ができないこと」をあげている。

また、「生活上のルールを守らない」という問題も23.6%の回答者があげている。



質問

あなたはのまわりで外国人に対する偏見差別があると感じますか。(複数回答)

(3) 生活習慣文化の相違に対する理解

<全体>

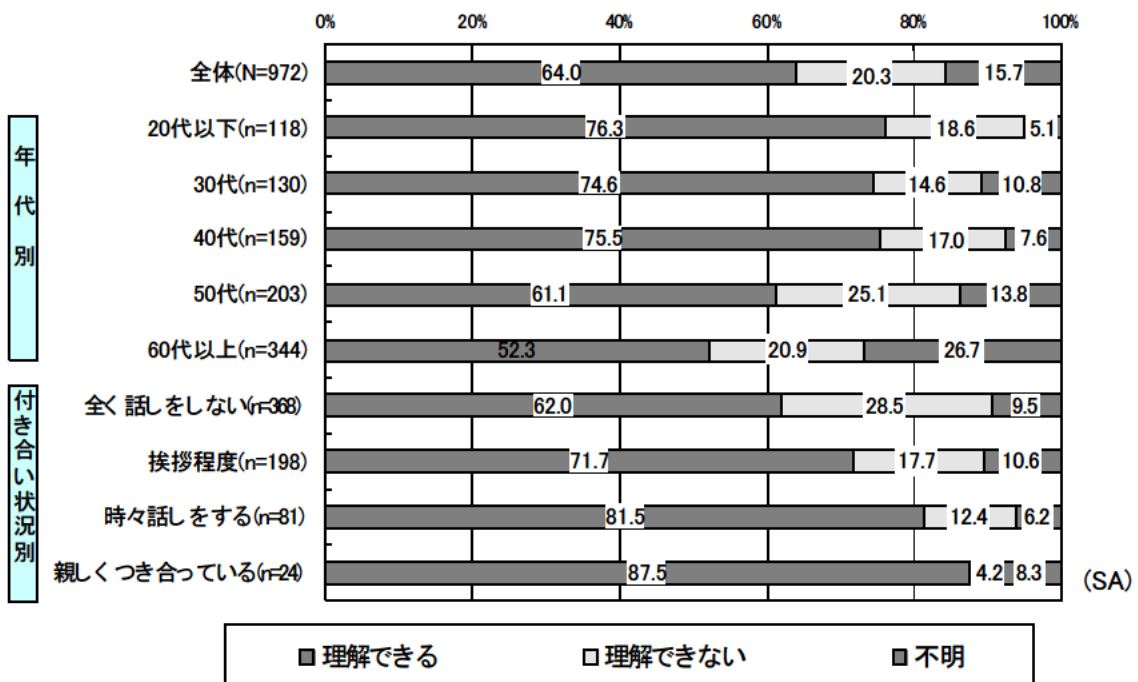
生活習慣文化の違いが「理解できる」という回答が64%と、約3分の2を占めている。

<年代別>

年代別にみると、50代以上に比較して40代以下の年代では「理解できる」という回答した割合が多くなっている。

<付き合いの状況（程度）別>

外国人との付き合いの状況（程度）別にみると、付き合いが親しいほど「理解できる」という回答が多くなり、「親しくつき合っている」回答者については、87.5%が「理解できる」としている。また、「全く話しをしない」者についても、約6割が「理解できる」としている。



○質問  
あなたは、生活習慣文化の違いについて、どのようにお考えですか。(単一回答)